

(3号通信)

日本教授学習心理学会 第7回年会
プログラム

2011年6月18・19日

兵庫教育大学

日本教授学習心理学会

第7回年会の開催にあたって

第7回年会準備委員会

委員長 黒岩 督

吉國秀人

崎濱秀行

神戸・六甲山の緑が映える清々しい時候となったのもつかのま、近畿地方は早くも梅雨に入ってしまった。会員の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

さて、来る6月18日・19日に、兵庫教育大学神戸サテライトに皆様をお迎えして、日本教授学習心理学会第7回年会を開催する運びとなりました。3月の地震にともなう大災害の影響は多方面に及び、まだまだ収束の目途は立っておりませんが、会員の皆さまのご協力を得て、27件の発表と公開シンポジウムを行う予定です。2日間の短い会期ではありますが、充実した交流の場になればと願っております。準備委員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

2011年6月1日

3) 大阪国際空港（伊丹空港）から神戸市内までのアクセス

大阪空港 → 三ノ宮駅（空港バス） 約 40 分 1020 円
 大阪空港 →（大阪モノレール）→ 蛍池 →（徒歩約 5 分）→ 蛍池 →
 （阪急宝塚線）→ 十三 →（阪急神戸線）→ 三宮 約 50 分 560 円

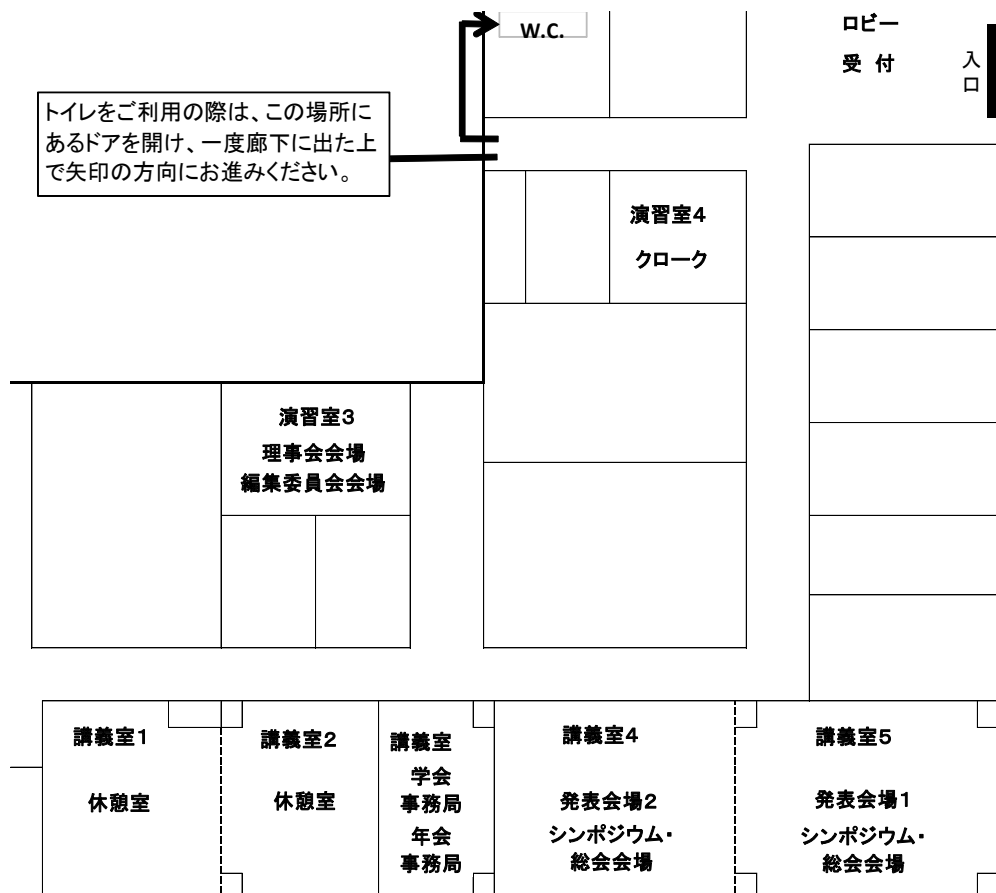
4) 関西国際空港（関西空港）から神戸市内までのアクセス

関西空港 → 大阪 → 三ノ宮（JR 線利用）約 1 時間 50 分 1660 円
 関西空港 → 三ノ宮駅（空港バス）約 65 分 1900 円
 （六甲アイランド経由便は約 75 分）
 関西空港 → 神戸空港（高速船） 約 30 分 1800 円

*神戸空港から三宮まではポートライナー（約 20 分 320 円）への乗車が必要です。

なお、**関西国際空港旅客ターミナル内チケットカウンター**および**ポートライナー三宮駅インフォメーション**では、高速船とポートライナー乗車券（いずれも片道分）がセットになった「**ポートライナーセット券（1800 円）**」を発売中です。

2. 神戸サテライト会場配置図



II 受付

1. 年会期間中は受付でお渡しする参加証（氏名・所属を記入したもの）をお付け下さい。
参加証は年会参加費，連名発表費，懇親会費の受領書も兼ねています。
 2. 受付場所は神戸サテライトロビーです。JR 神戸線「神戸」駅中央口から出て，南側（デュオこうべ側）の地下道を通り，総合教育センター方面にお進みください。25 番または 26 番出口から地上へ出て，神戸情報文化ビルの 3 階です。（徒歩約 10 分）。
なお，受付時間は両日とも午前 9：15 ～ 午後 2：00 までです。
 3. 受付は次の 3 つに分かれております。
 - (1) 予約参加者受付：年会参加費を前納された方は氏名・所属をお伝え下さい。
確認させていただき，参加章と予稿集などをお渡しします。
 - (2) 当日会員受付：会員で参加予約をされていない方は，「当日参加申込用紙」に必要事項をご記入の上，年会参加費（一般 7,000 円，大学院生 4,000 円，学部学生 2,000 円）を添えてお申し込み下さい。参加章と予稿集などをお渡しします。
 - (3) 臨時会員受付：非会員の方で臨時に年会に参加される方は，「当日参加申込用紙」に必要事項をご記入の上，年会参加費（一般 7,000 円，大学院生 4,000 円，学部学生 2,000 円）を添えてお申し込み下さい。参加章と予稿集などをお渡しします。
- * お荷物をクロークにお預けになりたい方は，受付時にお申し出下さい。お荷物とお引き換えに番号札をお渡しします。クロークは演習室 4 です。
- * 18 日（日）の夜に行われる懇親会についても受付時にご案内します。参加を希望される方は，受付時に懇親会参加費として 5,000 円をお支払い下さい。

III 会場関係（すべて神戸サテライト内です）

受付・公開シンポジウム・総会・その他すべて神戸情報文化ビルの 3 階となります。

1. 発表会場・公開シンポジウム会場・各種会議
 - (1) 発表会場 1：講義室 5
 - (2) 発表会場 2：講義室 4
 - (3) 公開シンポジウム：講義室 4 及び講義室 5
 - (4) 会務総会：講義室 4 及び講義室 5
 - (5) 理事会：演習室 3
 - (6) 編集委員会：演習室 3
2. 休憩室
休憩室は，講義室 1 と講義室 2 の 2 つの部屋があります。お茶などをご用意しています。飲食は休憩室のみでお願いします。なお，喫煙場所は年会準備委員長（黒岩督）までお尋ねください。
3. 著作物コーナー
著作物コーナーは講義室 1 の休憩室に設けます。北大路書房からの出展があります。出品又は展示を希望される方は，著書，論文抜き刷り，報告書などを当日お持ち下さい。有料頒布，無料配布のいずれも可能です。なお，事前に送付される場合は，その旨をメ

ール (nenkai@japtl.org 宛) にて連絡後、兵庫教育大学神戸サテライト事務室 黒岩 督 宛 (住所:〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル3階, Tel:078-361-5023)まで元払いでお送り下さい。

4. クローク (演習室4)

18日(土) 午前9時15分～午後5時30分まで

(懇親会に参加される方は、その前にお荷物をお受け取り下さい)

19日(日) 午前9時15分～午後5時30分まで

5. 昼食について

神戸文化情報ビルの筋向いにコンビニや神戸阪急があります。デュオこうべ(JR神戸駅前地下街)にも複数の飲食店があります。なお神戸サテライト内には食堂はありません。

6. 懇親会

日時:6月18日(土)18時30分から20時30分まで(ご案内は18時から)

会場:ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド3階「プレジール」(住所:〒650-0042

神戸市中央区波止場町7-2 Tel:078-371-1111)JR線「神戸駅」から徒歩約10分。

神戸市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約4分。

会費:5,000円(当日、学会参加受付にてお支払いください)

7. 託児室 ご用意できませんのでご了承下さい。

8. 駐車場 大学の駐車場はございません。JR, 私鉄または市営地下鉄をご利用下さい。

9. 学会事務局および年会事務局の関係者控え室は、講義室3です。

IV その他

1. 連絡先

(1) 会期前は下記までお願いします。

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学教職大学院 黒岩 督研究室

Tel:0795-44-2148 e-mail:nenkai@japtl.org

(2) 会期中は下記までお願いします。

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル3階

兵庫教育大学神戸サテライト事務室 黒岩 督

Tel:078-361-5023 e-mail:nenkai@japtl.org

*連絡はなるべく電子メールでお願いします。

2. そのほか、会期中にご不明な点は年会スタッフまでお訊ね下さい。

V 公開シンポジウム

「授業実践の未来を拓くー象徴事例の有効性をめぐってー」の題目で、年会初日(18日(土))の14時～16時に行います。パネリストは以下の方々です。

話題提供：愛知県 豊川市立 小坂井中学校 山内 敏男 氏

指定討論：兵庫教育大学 教職大学院 米田 豊 氏 (社会科教育学)

指定討論：兵庫教育大学 教職大学院 永田 智子 氏 (教育方法学・教育工学)

指定討論：早稲田大学 教育・総合科学学術院 麻柄 啓一 氏 (教授学習心理学)

具体的な授業実践を取り上げ、教育実践者からの視点、学習者からの視点、研究者からの視点を相互に行き来しながら議論できる場を設けることを主たるねらいに企画しました。実践者からの「授業実践」についての話題提供とともに、これを受けての「教科教育学」「教育学」「心理学」からの指定討論も取り掛かりにしながら、今後の授業実践開発や教授学習過程研究につなげていくことができるような議論の場になればと考えております。奮ってご参加ください。

話題提供の内容については、当日お渡しする予稿集に掲載するとともに、学会 HP にも掲載する予定です。なお、司会進行は準備委員の黒岩督(兵庫教育大学 教職大学院)が務めます。

研究発表及び実践発表について

1. 各研究発表に割り当てられた時間は、発表 15 分・討論 15 分の計 30 分です。時間内に発表と質疑を終了して下さるようお願いいたします。個人発表終了後の残りの時間は質疑や討論に当てます。司会の方は、終了の時間を厳守して下さるようお願いいたします。
2. 発表者が欠席した場合には、「発表取り消し」と見なします。ただし、連名発表の場合には、連名者が発表を代行することができます。責任発表者の交代などの変更がある場合には、年会事務局まで速やかにご連絡ください。
3. 当日配布資料がある場合には、各自で 30 部程度ご用意の上、会場の係員にお渡しください。
4. 当日会場には Windows XP のノート PC を用意いたします。パワーポイント 2003 がインストールされています。USB で接続できるデータ保存用のメディアをお持ちいただければ、パワーポイントの使用が可能です。使用するご予定の方は、少し早めに会場にお越しいただき、チェックをお願いします。

日本教授学習心理学会 第7回年会日程表

6月18日(土)	6月19日(日)
9:15~ 受付	9:15~ 受付
10:00~12:30 研究発表1(講義室5:5件) 実践発表1(講義室4:4件)	10:00~12:30 研究発表2(講義室5:5件) 実践発表2(講義室4:5件)
12:40~13:50 理事会(演習室3)	12:40~13:50 編集委員会(演習室3)
14:00~16:00 公開シンポジウム 話題提供 山内 敏男 氏 (講義室4及び5)	14:00~16:30 研究発表3(講義室5:4件) 研究発表4(講義室4:4件)
16:10~17:20 会務総会(講義室4及び5)	
18:30~20:30 懇親会 (ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド)	

研究発表及び実践発表スケジュール

研究発表 1 (6月18日/10:00~12:30/講義室5) 司会: 工藤与志文

- | | | |
|------------------------|--------------------------|--|
| ○井澤由利香
知久馬義朗 | 熊本県小国小学校
熊本大学 | 類別と量を重視した数の学習ー算数の導入に関する工夫ー |
| 石原直 | 東北福祉大学 | 算数科の授業改善のための「定義・定理」の役割 |
| ○廣瀬隆司
松寄昭雄
久次米昌敏 | 鳴門教育大学
埼玉大学
鳴門教育大学 | 算数教育における職員研修の心的要因への影響に関する研究 |
| 斎藤裕 | 新潟県立大学 | 種子植物の生殖ルール (花を咲かせて種を作る) 学習支援における映像及び実物使用教材と文章教材の差異 |
| 工藤与志文 | 東北大学 | 事例提示における推論方向の違いがルール学習に及ぼす効果ー「例外への懸念」との関連を中心にー |

実践発表 1 (6月18日/10:00~12:30/講義室4) 司会: 佐藤淳

- | | | |
|-------|--------|--|
| 元田静 | 東海大学 | 第二言語としての日本語読解ピア活動における役割分担について |
| 石村珠美 | 北海学園大学 | 看護学生の「脱水」に関する不十分な知識の修正を促す教授法の開発 |
| 宮田佳緒里 | 東北大学 | 小学生の物語読解活動における内容把握支援の試みー絵本を教材としてー |
| 佐藤淳 | 北海学園大学 | 多人数講義における受講者発表形式の授業運営の有効性と問題点ー短期大学1年生を対象としてー |

研究発表 2 (6月19日/10:00~12:30/講義室5) 司会: 佐藤康司

- | | | |
|------------------------|------------------------|---|
| 舛田弘子 | 札幌学院大学 | 説明的文章の不適切な道徳的読解に関連する要因の検討ー論理操作および読解方略の利用についてー |
| 崎濱秀行 | 阪南大学 | 中学生は、日本人教師による英語科ティームティーチングの授業をどのように捉えているのか? |
| 作間慎一 | 玉川大学 | 文学作品をどのように読むかー大学生の読者中心的読み方について |
| ○松寄昭雄
齋藤昇
廣瀬隆司 | 埼玉大学
立正大学
鳴門教育大学 | 現実世界における課題の解決に向けた絵や図の役割ー文章題指導の視点と原場面への注目ー |
| 佐藤康司 | 盛岡大学 | 金属概念の学習に及ぼす実物提示の効果 |

実践発表 2 (6月19日/10:00~12:30/講義室 4) 司会: 小石川秀一

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| 佐藤誠子 | 東北大学 | 等周長変形の操作活動を取り入れた面積の授業実践 |
| ○久次米昌敏
廣瀬隆司 | 鳴門教育大学
鳴門教育大学 | 数学的リテラシーを育成する教材開発とその実践に関する研究 |
| 上田望美 | 北海学園大学 | 心臓を中心とした『循環の仕組み』の理解を促進させるための教授方略の開発 |
| 渡邊大輔 | 北海道大学 | 科学教育からみた教育内容の構成原理について—「自然の階層性」に基づいた「炭素化合物の化学」の教育内容構成から— |
| ○小石川秀一
工藤与志文 | 東北福祉大学
東北大学 | 理科授業における教師の認識と子どもの認識のずれについて—小5「電流が生み出す力」における事例から学ぶ— |

研究発表 3 (6月19日/14:00~16:30/講義室 5) 司会: 立木徹

- | | | |
|--------------|-------------------|---|
| 蛭名正司 | 東北大学 | 高校生の割合文章題の解決方略と「変数操作的思考の偏り」との関連 |
| 大道一弘 | 早稲田大学 | 範囲画定法による「力の見つけ方」に関するルバーの修正—属性構造に基づく知識状態の記述枠組みによる評価— |
| 小林寛子 | 日本学術振興会
早稲田大学 | 教えられた知識を用いて問題解決過程を説明する活動が概念変化に及ぼす影響 |
| ○立木徹
伏見陽児 | 茨城キリスト教大学
千葉大学 | 家畜についての説明の詳しさが情感の生起に及ぼす影響 |

研究発表 4 (6月19日/14:00~16:30/講義室 4) 司会: 麻柄啓一

- | | | |
|-----------------------|------------------------------------|---|
| 岡田いずみ | 早稲田大学 | 統計的確率の誤認識を修正するための試み |
| 小口祐一 | 茨城大学 | 標本抽出における誤判断の要因の推定 |
| 齊藤啓亮 | 九州大学 | ru と eg による思考表現を用いた高等学校数学 I の教材開発に関する研究 |
| 大道一弘
岡田いずみ
小林寛子 | 早稲田大学
早稲田大学
日本学術振興会
早稲田大学 | パスカルの原理の学習に及ぼす「違和感への対処情報」の効果 |
| ○麻柄啓一 | 早稲田大学 | |